

いにしえより日本人にめでられてきた月
いま、秋の松濤で月の優品に出会う

重要文化財 月天十二天像の内 鎌倉時代(13世紀) 奈良国立博物館所蔵(前期展示)
重要美術品 山水図 岳翁戴丘筆 室町時代(15世紀) 佐野美術館所蔵(後期展示)
武蔵野図屏風 江戸時代(18世紀) 東京富士美術館(全期間展示)
甲陽猿橋之図 歌川広重筆 江戸時代(19世紀) 太田記念美術館所蔵(前期展示)
萩薄蒔絵観箱 江戸時代(17世紀) 京都国立博物館所蔵(全期間展示)
花宴蒔絵観箱(源氏物語箱絵箱附屬) 江戸時代(17世紀) 徳川美術館所蔵(後期展示)
これらをはじめ、全81件の優品を展示します。

The clear and mysterious moonlight
- various works of the moon in the Japanese art

— 夜を彩る清けき光

開館時間：午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
毎週金曜日は午後8時閉館(入館は午後7時30分まで)

休館日：10月11日(火)・17日(月)・24日(月)・31日(月)
11月4日(金)・7日(月)・14日(月)

入館料：一般1,000円(800円)・大学生800円(640円)
高校生500円(400円)・小中学生100円(80円)
60歳以上500円(400円)

※()内は団体10名以上及び渋谷区民の入館料

※土・日曜日、祝休日は小中学生無料

※毎週金曜日は渋谷区民無料

※障がい者及び付添の方1名は無料

主催：渋谷区立松濤美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、
日本テレビ放送網

渋谷区立 松濤美術館

THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL:03-3465-9421 <http://www.shoto-museum.jp>

2016

10.8日～11.20日

〈前期〉10.8日～30日 〈後期〉11.1日～20日

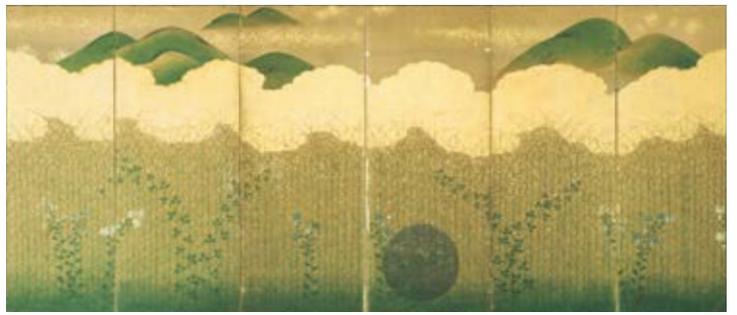
※会期中、一部展示替えがあります。

背景：武蔵野図屏風(部分) 江戸時代(18世紀) 東京富士美術館所蔵(全期間展示)

©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPartcom



©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPpartcom



①

月

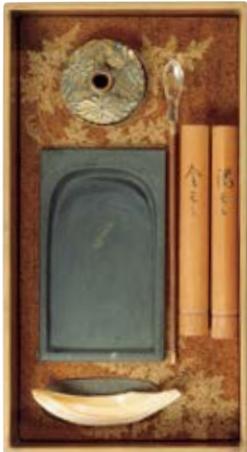
The clear and mysterious moonlight
- various works of the moon in the Japanese art
— 夜を彩る清けき光



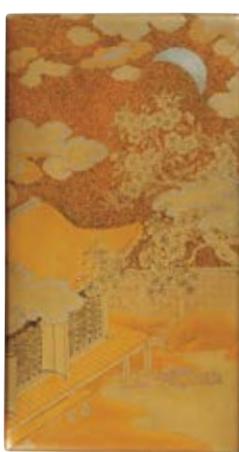
②

日々満ち欠けを繰り返す、時を刻む「月」は、1年間の人々の生活に12ヶ月の節目を与えました。明治時代に太陽暦が採用されるまで我が国は長らく太陰暦に則り、月の満ち欠けがまさに人々の生活のサイクルそのものでした。そのような月を日本人は、四季のうつろいに従う景物として鑑賞の対象としてきました。

古来より、名所の月は画題としてしばしば取り上げられました。そして、文学では、「物語のおや」ともいわれる『竹取物語』は、まさに月の天人を主題とした物語で平安時代から読み継がれています。また、和歌で月が多く詠まれることから、月が創造の源として親しまれてきたことがわかります。その一方、十二天像の月天として信仰の対象としても造形化されました。また、「日と月」「月と雁」「月下美人」というように個別のモチーフと組み合わせられることで名所絵における風景の一要素だったものが、よりクローズアップされるようになります。そして絵画ばかりでなく蒔絵調度や陶磁器から刀装具や甲冑などの武器に至るまで、その意匠として採用されました。本展では、絵画・工芸品81件による多面的な展示を通じて、日本人に脈々と流れる「月」への嗜好を探ります。



©徳川美術館イメージアーカイブ/DNPpartcom



⑤



画像提供 奈良国立博物館(撮影:森村欣司) ④



③

- ①武蔵野図屏風 江戸時代(18世紀) 東京富士美術館所蔵(全期間展示)
 - ②萩薄蒔絵硯箱 江戸時代(17世紀) 京都国立博物館所蔵(全期間展示)
 - ③山水図 岳翁蔵丘 筆 室町時代(15世紀) 佐野美術館所蔵 重要美術品(後期展示)
 - ④月天(十二天像の内) 鎌倉時代(13世紀) 奈良国立博物館所蔵 重要文化財(前期展示)
 - ⑤花宴蒔絵硯箱(源氏物語蒔絵箱箱附属) 江戸時代(17世紀) 徳川美術館所蔵(後期展示)
- 〈前期〉10/8(土)~30(日) 〈後期〉11/1(火)~20(日)



【交通案内】 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分
JR・東京メトロ・東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分

渋谷区立 松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL:03-3465-9421 http://www.shoto-museum.jp

次回展のご案内

セラミックス・ジャパン 陶磁器でたどる日本のモダン
2016年12月13日(火)~2017年1月29日(日)

【関連展覧会の紹介】
戸栗コレクション1984・1985・revival展
10月4日(火)~12月23日(金) 神戸栗美美術館で開催。
1984年11月~翌年1月まで渋谷区立松濤美術館で開催された戸栗コレクション展の作品を再展示。

【提携企画】
古典の日「狂言入門」(全席指定:1500円(税込))9月4日(日)発売
日時:11月1日(火)午後6時30分開演(午後6時開場)
場所:渋谷区文化総合センター大和田・伝承ホール
演目:「月を愛する日本文化」
対談:「月を愛する日本文化」
司会進行:鈴木英一(伝承ホール寺子屋プロデューサー)
ゲスト:バネラー...村松 修(コスモプラネタリウム渋谷解説員)
...平塚泰三(当館学芸員)
*区民先行優待有ります。(8月7日(日)~9月3日(土))
※「狂言入門」のお問合せ:渋谷区文化総合センター大和田
ホール事務室 電話:03・3464・3252

【館内建築ツアー】
10月22日(土)午後4時~4時30分 / 11月11日(金)午後6時~6時30分
*要入館料 *各回定員20名 *事前予約の必要はありません。
*同日併せて館内でパフォーミングスも予定しております。詳細は美術館HPでご確認ください。

●月の音楽会
日時:10月22日(土) 午後2時
場所:地下2階ホール
出演者:浄瑠璃・常磐津和英太夫 三味線・常磐津都史
*要入館料 *各回定員20名 *事前予約の必要はありません。
*同日併せて館内でパフォーミングスも予定しております。詳細は美術館HPでご確認ください。

●当館学芸員によるギャラリートーク
10月15日(土)・21日(金)・11月12日(土) 午後2時
*要入館料 *事前予約の必要はありません。
*直接、地下2階ホールへお越しください。

●記念講演会:11月3日(木・祝)午後2時
「絵画に浮かぶ月」
樋口一貴氏(千文字学園女子大学人間生活学部文芸文化学科准教授)
*要入館料 *定員80名 *事前予約の必要はありません。
*直接、地下2階ホールへお越しください。